12　没後40年中間冊夫展　ヒューマニズムの軌跡

団体名	一般財団法人三宅美術館			分野	美術
所在地	鹿児島市谷山中央1-61-30			TEL	099-266-0066
団体の紹介	「心を癒す憩いの空間」をモットーとする美術館。鹿児島ゆかりの画家作品や薩摩焼を所蔵・展示し地域文化の向上発展に貢献している。				
期日	R7.12.8～ R8.3.1	場所	三宅美術館 （鹿児島市）	集客数	197名（うち子ども40名）
実施内容	・当館を代表する画家の１人である中間冊夫（南さつま市出身）の画業のあゆみを振り返る展覧会の開催 ・中学生・高校生向けに短い文章のキャプションやジュニアガイドを作成 ・鹿児島情報高等学校団体見学でのギャラリートーク開催				
広報	・公共掲示板や全国・地元新聞、美術展サイト及び画家が教授を務めた武蔵野美術大学公式サイトへの掲載 ・SNSでの情報発信				
活動の成果・課題と改善点	・中間冊夫という画家の歩み、また唯一無二の画風を県内外の方々に知っていただくことができた。また、中間冊夫の教え子にあたる方々に多数足を運んでいただき、大学教員としての顔や自宅での様子など、当館では知りえない貴重なエピソードを得ることができた。 ・例年、冬季企画展は高校生以下の観覧者数が１桁台となっていたが、本展では全観覧者数の２割を占めるまでに至った。より多くの若い世代に足を運んでもらえるよう、今後も学生をターゲットとした広報に力を入れていくほか、若い世代向けのイベント開催に取り組みたい。				
総事業費	180,703円		助成額	87,000円	